

2 工学部における教育理念

人間、社会、環境等の何れにも配慮し、人類の存続と繁栄に必要な科学技術の発展のために、基礎研究と応用研究に邁進し、先端的研究を志向し、その成果を基に国内外及び地域に貢献するために、学部・修士・博士課程の特長ある教育システムにより高度専門技術者、若手研究者の育成を行います。

岡山大学工学部は、機械システム系学科、電気通信系学科、情報系学科および化学生命系学科の4学科から構成されており、自主的な行動力、総合的な判断力、国際性、倫理観を有する「課題探求型人材」育成のために4年一貫教育を次の理念で行っています。

また、各学科内には、コースが設定されており、より専門的な人材の育成を図っています。

「課題探求型人材」の育成のための教育理念

- ① 専門分野の基礎的知識の修得と活用能力、自主的な学習能力、探求能力の育成
専門分野の基礎的・基本的知識を修得して活用できるようにし、自主的持続的に学び、探求し、まとめる能力を育成します。
- ② 幅広い視野と柔軟で総合的な判断能力の育成
自主性・探求能力の向上に伴い、さらに広い問題に対して、問題点の整理、関連技術、今後の解決策、環境・社会的影響等について総合的に判断する能力を育成します。特に、学部教育においては、基礎理念、基礎・応用設計、製作、評価の一貫的な能力を育成します。
- ③ 倫理観、社会貢献する態度の育成
技術者、研究者、社会人としての倫理観、社会貢献についての視点を明確にできる能力を育成します。特に社会貢献については、自主的に活動に参加する積極性を育成します。
- ④ 日本語と外国語の十分なコミュニケーション能力、及び情報活用能力の育成
国際的な高度専門職業人として必須である語学及び情報処理の基本・応用能力を育成します。
- ⑤ 豊かな人間性の育成
教養教育、専門教育による学生の文化的・学問的・技術的資質の向上、及び大学生活での交友と、課外活動、社会活動への参加による一般資質の向上により、豊かな人間性を育成します。

工学部では、工学分野における研究、技術開発を担う課題探求型人材を育成するために、教養教育科目及び専門教育科目において基礎基本知識、理論展開、実験実習による技術の習得を丹念に行えるカリキュラムの編成を行っています。